



川棚げんきだより

長崎県立川棚特別支援学校

令和2年12月24日 発行

◆ 「ピンチのあとにチャンスあり」

高等部主事 吉村 明

12月に入り朝夕の冷え込みが厳しくなり、いよいよ本格的な冬が近づいてきました。今年は、新型コロナウイルス感染症のため、日本全国の学校が休業となり、多くの子供たちの学習に影響が出ました。本校においても小・中学部、高等部の様々な行事を中止したり、制限がある中で実施したりしました。

さて、「ピンチのあとにチャンスあり」というフレーズを聞いたことがあるかと思います。私は小学校から野球をやっていたので、様々な場面で耳にすることがありました。小学生のときのある大会で、圧倒的に相手が有利な試合展開の中、監督からは『ピンチの後がチャンスだぞ！』と声を掛けられ、意味も分からず、不思議に思いながらも『はい！』と元気に返事をしていたことを思い出します。

先日、あるスポーツ選手は大けがから復活し優勝という栄冠を手にしたときのインタビューで『ピンチをチャンスと思い・・・』と答えていました。来年の東京オリンピックを目指す多くのアスリートも、オリンピック開催が1年先になったことを、“ピンチ”ととらえず、1年準備期間が増えたので“チャンス”と表現していました。

各部の行事や川棚げんきまつりも内容を大きく変更しての実施でしたが、限られた状況下で児童生徒が精一杯学習の成果を発表し、今年も多くの人に感動と勇気を与えてくれました。改めて児童生徒の頑張る姿と底力に驚いた1年でした。間もなく迎える令和3年も、新型コロナウイルス感染症の状況が読めませんが、ピンチをチャンスに変え、“川特 ONE TEAM”の精神で、学校生活を盛り上げていきましょう。

◆ 持久走大会

12月4日金曜日、令和2年度 持久走大会が開催されました。前年度まで「ゴーゴーチャレンジ」として開催されていましたが、「持久走大会」となったの初めての大会。天候に恵まれ、日差しが気持ちよい冬空の中、練習に汗を流してきました。

本番当日も朝に懸かっていた雲が、競技が始まると晴れ、気温も上がり、とても走りやすい一日となりました。

小学部は1週300mと700mのコースを最長1.4km走りました。ものすごいスタートダッシュで、さすがに最後はみんな疲れてしまいましたが、ゴールテープを切るときは、良い笑顔がたくさん見られました。

中学部は1週1700mのコースを最長6.8km走りました。経験したことのない距離やきつい上り坂に苦戦していましたが、本番は練習時の記録を更新するなど、最後まで頑張って走り切りました。

高等部は1週1700mのコースを最長6.8km走りました。練習からタイムを縮める意識が強く、一生懸命練習をし、たくさんの生徒が自己記録を更新しました。

応援に来ていただいた保護者の皆様、たくさんの御声援ありがとうございました。



第30回 川棚げんきまつりが開催されました

～御理解・御協力 ありがとうございます～

◆高等部

高等部は、農工班、窯業班がバザー、清掃班は車内清掃や窓清掃をしました。清掃班は授業で取り組んでいる清掃の技術を披露しました。車内清掃に御協力いただいた保護者の方には感謝の言葉と「ぜひまたお願いしたい」という言葉をいただき、生徒たちはとても喜んでいました。窯業班は、お皿やお茶碗などの陶器の販売を行いました。自分たちが作った製品をたくさんのお客様に手に取っていただき、生徒たちも自信を深め、日々の学習への活力となりました。農工班は、野菜や木工製品の販売をしました。多くの方にお越しいたごき、準備していた野菜、木工製品をほとんど売り尽くすことができました。御購入された保護者様より、おいしかったとの声をいただいたと多くの生徒から耳にし、農工班一同とても感謝しております。



◆中学部

中学部では、1・2年生が、「伝え合い、協力し合い 助け合い」というテーマで、公共施設についての学習発表を行いました。大きな学校行事が、軒並み中止となる中、今年度初めての大きな行事となりました。4人の1年生は緊張に負けず、発表をすることができました。2年生は、昨年よりも、ぐっと成長した姿を披露することができました。

3年生は、「新しい発見～島原半島世界ジオパークを巡って」というタイトルで、島原半島のこれまで気付かなかったすばらさを発表しました。3年生らしく堂々と顔を上げて発表する姿は、修学旅行を経て、一段と成長した様子を伺わせるものでした。

音楽発表の「Smile Again」では二部合唱に挑戦しました。作業バザーでは、農作業班と手工芸班が、これまでの作業学習で制作した製品を、心を込めて販売することができ



ました。慌ただしい中でも、充実した時間を過ごすことができ、生徒たちの自信と笑顔につながる日となりました。



◆小学部

小学部では、低、中、高学年の三つのグループに分かれて劇や合奏の発表に取り組みました。低学年の「桃太郎」では、3人の桃太郎をはじめ、鬼や犬、猿、きじが登場し、短い会話のやりとりをしたり、歌を歌ったり、行進をしたりするなど、とてもかわいい姿が見られました。中学年の「ブレーメンの音楽隊」では、ろば、犬、猫、鶏にふんして、太鼓やウッドブロック、鉄琴、クワイヤーホルンなどの楽器を使って、楽しい合奏を披露しました。高学年は、「サウンド・オブ・ミュージック」を発表しました。テーブルベルで「エーデルワイス」を演奏し、振りをつけて「ドレミの歌」を歌いました。客席からは手拍子が起こり、ステージと客席が一体となった盛り上がりの中で幕を閉じることができました。小学部の子供たちはみんな誇らしげな笑顔を見せていました。大勢の前で発表する経験を通して大きく成長できたように思います。保護者の皆様には御協力と応援をしていただきありがとうございます。



今回の「川棚げんき☆まつり」の開催に際しまして、新型コロナウイルス感染症 予防対策や、個人情報の保護にあたり、たくさんの御理解をいただきましたこと、本当にありがとうございます。

今後の学校行事や学習活動の実施におきましても、この方針を進めることが予想されます。今後とも、御協力をよろしくお願い申し上げます。

修学旅行に行ってきました！



◆小学部 6年生

10月15日(木)～16日(金)の1泊2日で修学旅行に行ってきました。長崎市内の平和公園、長崎市科学館、グラバー園などを見学し、ホテルにっしょうかんに宿泊しました。当初は福岡県へ行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、場所を変更し、行程も感染症予防に努めながらの計画となりました。当日は天気が良く、子供たちは楽しく活動に参加することができました。平和公園では、平和記念像の大きさに驚き、昼食のトルコライス、長崎名物の味を堪能することができました。ホテルでは、大きなお風呂でのんびりと体を休め、テラスで夜景を見ながら長崎の街の様子を知ることができました。初めて見るもの、初めて経験することがたくさんあり、子供たちの目も輝いていました。これまで以上に更に大きく成長が感じられる修学旅行になりました。



◆高等部 3年生

12月10日(木)～11日(金)の1泊2日で長崎県内の県北・平戸生月地区に修学旅行に行ってきました。直前の1週間前まで3泊4日の大分方面への修学旅行を計画しておりましたが、現地で新型コロナウイルス感染症が拡大し、行先の変更を余儀なくされました。しかし、生徒たちは行先の変更にも慌てず、前向きに事前学習に取り組んで旅行に臨みました。

1日目は高等部のみんなに見送られて、針尾の西部ガス九州工場で、実験や見学を通して都市ガスの特徴やガスが作られる過程を見学しました。説明を聞きながら、大事なことをしおりに書き留めることができました。その後、弓張の丘ホテルに移動し、テーブルマナーの実践を行いました。ナイフやフォークの作法に苦戦しながら、2時間のコース料理をいただくことができました。班別行動のハウステンボスでは、事前に意見を出し合って決めた見学場所や食事場所におおよそ計画どおりに行き、日が暮れてからは、場内のイルミネーションを満喫しました。宿泊はホテルオークラで、ユニットバスを次の人が快く使えるようにマナーを守りながら使用できました。部屋からはハウステンボスの夜景が一望できました。

2日目、一日の始まりはアメリカンブレイクファーストで、ナイフやフォークに再び格闘しました。その後、バスで生月へ移動し、生月の島の館を見学しました。捕鯨の歴史や郷土力士、漁業についての展示を静かに見学しました。昼食は平戸の旗松亭でいただき、そこからバスで学校まで帰ってきました。

当初の計画からは大幅に変更になりましたが、状況に応じた落ち着いた行動や、事後学習でのまとめや、発表へ熱心に取り組む姿勢が見られるなど、高等部3年間で成長した姿がまぶしく見えた修学旅行になりました。



◆中学部 3年生

9月30日(水)～10月2日(金)の2泊3日の日程で、島原方面へ修学旅行に行ってきました。同じ県内でありながら、知らなかった多くのことを見て、聞いて、体験することができた実り多い、修学旅行となりました。

1日目の雲仙地獄では、もくもくと立ち上がる湯気や硫黄臭に驚き、さらに、ぼこぼこと湧き出る高温の温泉を見て、「すごい！」の連発でした。2日目の雲仙普賢岳の災害学習では、ボランティアガイドの方に説明をもらいながら、各施設を回りました。すさまじい自然のパワー、そして復興に向けて取り組む人々のたくましさを身近で感じることができました。3日目のイルカウォッチングでは、イルカを見ることはできませんでしたが、天気も良く、気持ちよくクルージングを楽しむことができました。この3日間の貴重な体験を今後の生活に生かしていきたいと思えます。



◆小学部 校外学習（低学年）

10月19日（月）に1・2年生で大崎自然公園（くじやく園）に行きました。まずは、アスレチックで楽しく体を動かした後、園内を散策しました。園内には、くじゃくだけでなく、ヤギやリス、フラミンゴ、ウサギ、ポニーなどがいました。子供たちは、鳴き声をまねたり、声を掛けたりしながら、それぞれのグループに分かれて生き物の観察をしました。

なかなか出掛けることもままならない中、久しぶりに広々とした場所で活動することができました。子供たちも「みんなと一緒に行動する」などの約束を守りながら、のびのびと活動していました。天気にも恵まれ、楽しい校外学習ができました。



◆中学部 交流及び共同学習（1、2年生）

今年新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、東彼杵中学校との交流及び共同学習は、直接交流ではなく、共同でポスターを制作することを通して間接交流をしました。ポスターの内容は、新型コロナウイルス感染症に感染した人、完治した人、医療に携わっている人たちを差別の目で見たり、心無い言葉を掛けたりすることがないように、一人一人が心無い言葉を言われたらどんな気持ちになるのかを考え、ポスターを通して伝えたいことを表現しました。そして、東彼杵中学校の生徒に着彩してもらいました。自分の絵が戻ってきた際、ポスターを描いたときの思いや、どのような色を付けてほしいのかなど、伝えたとおりに仕上げてくれてうれしかったという感想をもつことができました。自分の考えや思いを伝えることだけでなく、友達の思いや考えを知る大切さなど、交流学習を通して様々なことを学ぶことができました。



◆高等部 校外学習（2年生）

例年、高等部2年生は長崎市での宿泊学習を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防により、貸し切りバスを使っての県北地域での校外学習をしました。今回の校外学習は、総合的な探究の時間で「戦前戦後の日本」をテーマにした学習の一環で3班に分かれて平和学習に取り組みました。校外学習当日は「浦頭引揚所」「針尾送信所」「戦没者慰霊碑（城山公園）」の3か所を回り、各班での学習内容の発表、戦時遺構の見学、慰霊碑の前での平和宣言を行いました。各班の発表はよく工夫されており、みんな興味をもって聞くことができました。戦時遺構の見学は、当時にタイムスリップしたような感覚で体感することができました。平和宣言は現代を生きる自分たちができることを考え伝えることができました。事前学習を踏まえ当日を迎えたことで、平和について深めることができたとても意義のある校外学習になりました。



3学期の主な行事予定

1月 8日（金）	3学期 始業式
1月21日（木）	現場実習（高2）～2/10（火）
1月25日（月）	現場実習（高1）～2/5（金） 園・保護者面談 ～2/5（金）
2月10日（水）	授業参観
2月17日（水）	児童生徒会役員選挙
3月 1日（月）	高等部卒業証書授与式
3月 9日（火）	入学選考検査
3月16日（火）	小・中学部卒業証書授与式
3月17日（水）	高等部合格者発表
3月24日（水）	修了式、離・退任式

編集後記

2学期は、新しい生活様式を求められる日々の中で、新型コロナウイルス感染症対策をして青少年劇場や川棚げんきまつり、持久走大会など、行事を実施することができました。大きな滞りがなく、児童生徒が健康に過ごし、学習活動を行うことができ、保護者の皆様にも深く感謝しています。

新型コロナウイルスの影響も受けつつも、新しい活動に取り組むことができたり、表彰を受ける児童生徒も増えたりするなど、良いこともあった2学期でした。悪いことばかりに目が留まりがちになりますが、せつかくの良い出会いや、素晴らしい出来事があったことも忘れずに、年の瀬を迎えたいものです。

再び感染の波が立っているようですが、令和2年が過ぎ去り、新しい年は着実に近づいています。来年が本校と児童生徒、保護者の皆様にとって素晴らしいものになりますよう、心より祈念して御挨拶とさせていただきます。良いお年をお迎えください。